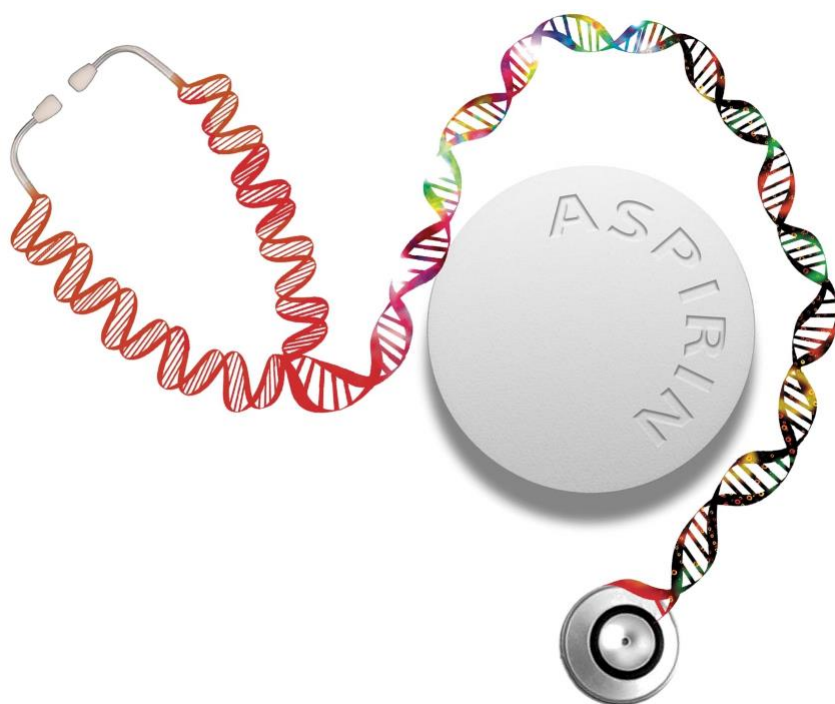


アスピリンによる大腸がん予防 と大腸内視鏡検査について

米予防医療サービス対策委員会（USPSTF）は、2015年に米国成人における大腸がん予防目的でのアスピリンの使用を推奨しています。



アスピリンの定期使用は、大腸がんリスクの低下と強い関連が認められ（*JAMA Oncol*誌に掲載）、32年間の大腸がんリスクの低下率は19%でありました。



大腸がん予防におけるアスピリンの便益は、アスピリン錠を週 0.5~1.5 錠以上、6 年以上使用すれば得られます。

大腸内視鏡検査とアスピリンの定期使用を組み合わせることにより、大腸がんに対するさらなる予防効果が期待されます。

